

新型コロナウイルス感染症に関する会長談話

会員各位におかれましては、日頃より、医薬品の供給、感染対策等にご尽力されていることと思います。会員各位のご奮闘に対し、心より敬意を表します。また、日本病院薬剤師会の運営に対するご理解とご協力に感謝申し上げます。

さて、昨年末に中国の武漢市で発生した新型コロナウイルスは、今や世界を巻き込み猛威を振るっています。我が国においても、感染者は増加の一途をたどり、4月7日には、改正新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく初の「緊急事態宣言」が発せられました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りすると同時に、感染された方々の一日も早い回復を祈念申し上げます。

新型コロナウイルス感染症において最も危惧されているのは、患者の特に重症患者の急増による医療崩壊です。現に、重症患者を治療する病棟においては、ベッドや人工呼吸器の不足、医師、看護師の疲弊がしばしば話題にのぼっているところです。また、医療従事者が感染者となり、不足と疲弊に輪をかけている状況も散見されます。

一方、薬剤師については、一旦、感染者がでると、薬剤部の業務に支障をきたし、ひいては医療機関全体の運営に多大な影響を与えることが予想されます。既にご承知のこととは思いますが、密閉・密集・密接を避けることと、十分な手洗いやマスクの着用の徹底を改めてお願い申し上げます。

我々薬剤師には、新型コロナウイルス感染症の患者だけでなく、他疾患患者の治療のためにも、チーム医療の一員として、医薬品の安定的な供給と適切な薬物療法を確実に提供することが求められています。

新型コロナウイルス感染症の蔓延・拡大が留まるところを知らない現状の中、くれぐれも自身の感染予防に留意し、医療を支えるために貢献して頂きますよう、宜しくお願い申し上げます。

令和2年4月14日

一般社団法人 日本病院薬剤師会
会長 木平健治